

# 山口県海外ビジネスサポートデスク 通信

3月号

FROM シンガポール

## 今月のデスク活動

### 個別相談を実施！

待ちに待った春到来でございます、皆様いかがお過ごしでしょうか？

大きなイベントとはございませんが、企業様からのご相談をオンラインでお受致しました。

今回も、相談を希望された企業様のケースを皆様へシェアいたします。

### 【相談事例】

#### ①日用品メーカー様「文化に合った商品の販路開拓がしたい」



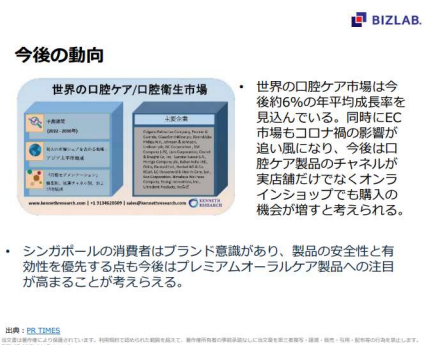
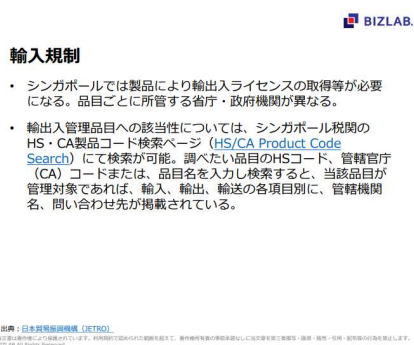
⇒利用メニュー 販路開拓支援（情報収集）

シンガポールへ自社製品のアイピローを販路開拓していきたいとのことで、以前ご相談を受けた企業様から再度ご相談を頂きました。以前相談の際の商品は、市場調査の結果、シンガポールの風土や文化にマッチしていなかった為、別の商品での販路開拓をご希望でした。今回のご相談を受け、弊社からはアイピローの販路開拓のため専門の方のアドバイスを頂くべくシンガポール在住の眼科医様をご紹介します、現地の意見交換をお勧めしました。

#### ②日用品メーカー様「これから海外への売込みを始めたい」

今月も現地調査をお受け致しましたので、内容をチラ見せさせていただきます。

海外での販路開拓は初めてとの事で、まずは当該(類似)製品の海外市場について知る事をご提案し、調査しました。商品や今後の展開についてヒアリングを実施し、口腔に係るケア市場や、歯科、歯科材料、日用品業界について幅広く調査しました。下記は「口腔ケア市場」についての資料です。



(文責：株式会社日本アシスト 大畑 満帆)

## 現地からお届け！ 最旬情報 -シンガポール編-

新型コロナの影響で渡航が出来ず、現地の生の情報がリアルタイムで入って来ることが難しくなっていました。そんな皆さまの為、毎月各国の「旬」な情報を現地からお届けいたします！ 第7回の最終回はシンガポールデスクよりお届け。最新のシンガポールの状況、経済ニュースなど、疑問にお答えします。



### 「シンガポールの現状」

#### アフターコロナ

コロナ終息を迎えたシンガポール。

2月13日からシンガポールでは新型コロナウイルスに関するほぼ全ての規制が撤廃しました。特に、電車やバスなどの公共交通機関でのマスク着用が不要となったことは、当地で生活している者としては、大きな変化だと感じています。すべての国境規制もすべて撤廃され、まさに待ちにまったコロナ終息の宣言がされたと言っても過言ではありません。（一部、医療機関でのマスク着用義務などは残ります）予防接種を受けていない旅行者もシンガポール入国前に、出国前の検査で陰性だったことを証明する必要もなく、シンガポール到着時にワクチン接種の証明書を提示する必要もなくなりました。

このような終息宣言以降、マライオンをはじめ、国内の至るところの観光地にはコロナ前によく見た観光バスや、ツアーガイドが旗をもって先頭に立って案内する団体客を多く目にするようになりました。私も昨年末から数ヶ月、日本から多くのお客さまがシンガポールにお越しになり、会食や商談や、視察のアテンドなどの数も急激に増えてきました。

私が経営するレストランは、Boat Quay とよばれるシンガポールリバーに川沿い近くにあり、この辺りはもともと観光客が多いということもありますが、外国人観光客で溢れています。私の日本食を出す小さな隠れ家的なレストランでも、ふらっと予約なしでウォークインとして入店するお客様も見られるようになったことは大きな変化です。

ここで、シンガポール政府観光局（STB）の統計を見てみましょう。海外からシンガポールへ来る観光客数は2022年に630万人に達し、シンガポール政府観光局の予測である400万人から600万人を上回りました。観光収入は138～143億ドルに達すると推定されます。コロナ禍の再発など予期せぬ事態がなければ、2024年までにコロナ禍の前の水準に回復すると予想されています。

特に、2022年は私の実感としても、国境規制の緩和によるシンガポールにおけるMICEイベントの再開が加速しことが大きかったと思います。特に私も参加した食に関する展示会、Food and Hotel Asia - Food & Beverageは、115カ国以上から過去最高の参加者が集まりました。さらに、2年ぶりに開催されたF1シンガポールグランプリは、過去最高の30万2000人の観客を集め多くの国際イベントが戻ってきました。これらの統計実績はポストコロナの旅行者にとって、シンガポールが東南アジアにおけるビジネスの主要な目的地として魅力的であることを浮き彫りにしたと言えるでしょう。

（文責：日本アシストシンガポール 関）

## 【1年を通して】

本年度は、新型コロナウイルス感染症が収束したことにより、多くの企業様が海外渡航を再開した1年となりました。止まっていた海外展開の動きも活発になり、当デスクにもたくさんのご相談をいただきました。

現地ではインフレで物価が上昇しており、日本の商品を購入できるような高い所得を持つ層が急激に増えております。そして、昨今の急激な円安により、日本からの輸出拡大の絶好のチャンスが来ているかと思えます。このチャンスをものにするためには、日本の商品をただそのまま海外に持ってくるだけでは不十分で、その企業ならではのブランドやストーリーを磨き、商品の競争力を高めていく努力が必要です。

当デスクでは、現地の情報に精通する現地パートナー(シンガポール、台湾、タイ、マレーシア、ベトナム)とチームを組み、山口県企業様のご支援に尽力して参りました。1年に満たない短い期間ではありましたが、数多くの企業様の販路開拓のサポートをさせていただけたことを大変嬉しく思います。今後も山口県企業様の海外展開をサポートしていければと思っておりますので、引き続きよろしくお願い致します。

